

# エリアウェーブ

峡東教育事務所  
地域教育支援スタッフ  
TEL 0553-20-2731  
FAX 0553-20-2733

◎回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。峡東教育事務所のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎記載内容についての文責は峡東教育事務所にあります。問い合わせ、ご意見・ご感想、情報提供は峡東教育事務所地域教育支援スタッフ(E-mail:maruyama-xdpr@pref.yamanashi.lg.jp)までお寄せください。

## 人権のための講演会報告

峡東地域教育推進連絡協議会

11月16日(木)、笛吹市いちのみや桃の里ふれあい文化館において、峡東地域教育推進連絡協議会・笛吹市教育委員会等が主催する人権のための講演会が開催されました。講師はNPO法人ジェントルハートプロジェクト理事の小森美登里氏で、3市教育長、保・幼・小・中・高の教職員・保護者、行政関係者、子育て支援関係者や勸学院生等が「いじめって何ですか?~いじめに対する大人の認識を考える~」と題してのご講演を伺いました。講演の内容を一部掲載します。



### いじめを受けている子に「負けるな、頑張れ」と言っていますか?

娘がいじめを受けている時、私は「負けるな、頑張れ」「今の苦しみを乗り越えれば、来年素晴らしい先輩になれるよ。だから、今は辛いけど一緒に乗り越えようね」と言っていました。でも考えてみてください。毎日著しい人権侵害を受け、心に深い傷を負い続けている子どもに、『もっと頑張れ』。これは酷な言葉です。

### いじめは虐待

私は『いじめは虐待行為と全く同じ』と考えています。『肉体的暴力・精神的暴力・ネグレクト・性的暴力』が虐待と定義されていますが、学校でこれらの行為が行われると、いじめという表現に変わり、ちょっと軽く扱ってしまいます。「虐待くらいで」なんて言う人いるでしょうか。『いじめ行為は虐待行為』です。ある子どもは、「お前、そろそろいじめに慣れろよ」と言われたそうです。慣れるはずがありません。虐待に慣れるということは、自分を否定し続けて生きることですので、幸せな人生に繋がりません。私は『いじめは虐待だ』と理解するところから、いじめに対する認識を変えていきたいと思っています。

### 子ども達が大人に相談できない理由

大人が子ども達に何気なく言っている『なぜいじめられるの』『あなたにも何か思い当たることない』『いじめられる子にも原因があるよ』といった言葉は、いじめられている子どもにとってはショックな言葉です。『被害者責任論』の言葉は、もしかしたら、人を死へと追い詰めてしまうかもしれません。

### 傍観者も加害者?

『傍観者も加害者』という言葉聞いたことがあると思います。いじめ問題は大きく『被害者』『加害者』『傍観者』に分けることができるとは思うのですが、私はこの三者の中に幸せな人はいないと思います。いじめに係わっているすべての人が『被害者』だということを、今の活動を通して思うようになりました。

### いじめは、いじめ加害者問題

私が提案しているのが『加害者の背景に寄り添った声かけ』です。「どうしたの」「何かあったの」「辛いことない」「良かったら、いつでも話しにおいて。待っているよ」…。みんなが優しくしたら、『自分のこと、本当に心配してくれているのかな』『愛してくれているのかな』って思ってくれるのではないかと思います。

### 「優しい心が一番大切だよ」

娘は自殺行為をする4日前、「優しい心が一番大切だよ。その心を持っていない、あの子達の方が可哀想なんだ」と言いました。『優しい心が一番大切だよ』という言葉は、『人は独りぼっちでは生きていけないんだよ』という意味に感じます。『その心を持っていない、あの子達の方が可哀想なんだ』という言葉は、まさに『いじめは被害者問題ではなく、加害者問題なんだ』ということを行っているんだと思います。『いじめをしてしまうあの子達に寄り添ってあげて』、そんなメッセージだと理解しています。

## 「心をはぐくむ『あいうえお』」

県教育庁社会教育課  
峡東教育事務所

県教育委員会では、子どもたちが、自分や他人の生き方・存在を認め合い、自他を敬愛する「しなやかな心の育成」プロジェクトの一環として「心をはぐくむ『あいうえお』」に取り組んでいます。

あ：ありがとう ごめんなさい 素直な心育てます

い：一緒に読書 家族の会話もはずみます

う：うちの子もよその子も同じ気持ちで叱ります

え：笑顔で声かけ 元気にあいさつ 地域に広がる思いやり

お：教えます いけないことは いけないと

子どもたちが心豊かに育つよう、家庭・地域・学校が同じベクトルで取り組んでいきましょう！

## わだつみ平和文庫記念講演会

甲州市生涯学習課

甲州市は10月24日（火）、甲州市民文化会館において「わだつみ平和文庫『日本戦没学生の手記』レプリカ完成披露及び記念講演会」を開催しました。戦没学徒の1人、旧塩山市出身の中村徳郎さんは、戦地に赴く辛さや家族への想いを記した手記を、弟の克郎さんに渡しました。克郎さんは徳郎さんの遺志を継ぎ、この手記の出版やわだつみ平和文庫を設立することで、広く平和の大切さを訴えました。このたび、手記のレプリカ完成に伴い、甲州市田辺市長から克郎さんの娘である中村はるねさんに手渡されました。また立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長の安斎育郎氏による講演会も行われ、参加した中・高校生に平和の大切さと「Think globally, act locally. Think locally, act globally.」という言葉が贈られました。



## 小学校英語公開授業

山梨市小学校英語科教育推進委員会  
岩手小学校

山梨市小学校英語科教育推進委員会と岩手小学校は、11月30日（木）に2020年度からの次期学習指導要領を見据えた英語の授業公開を行いました。6年生8人は元気よく、英語であいさつをして会場である多目的室に入りました。授業における指示はほぼ英語です。チャイムが鳴ると、児童は担任の雨宮先生・JTEの岩崎先生・ALTのキンバリー先生と個々に言葉を交わした後、先生方からの英語での発問に対し、黒板に貼られた絵を見ながら元気に英語で答えていました。また、2人1組で質問者と解答者となり会話するその様子は、『音に慣れ親しむ』外国語活動というより、これまでのノウハウが生きた遙かにレベルの高い活動で、参観に来ていた多くの先生方も、一人一人の英語力の水準の高さに圧倒されていました。



## 就学前健診と保護者学習会

3市教育委員会・各小学校

3市教育委員会と各小学校では、4月から小学校に入学する就学児とその保護者を対象に、健康診断と講演会を実施しました。甲州市の奥野田小学校では、講師に認定心理士の手島羽ツ枝先生をお招きしました。手島先生は、アドラー心理学に基づいた『勇気づけの子育て親育て』と題した講演を行い、子育ての目標「ほめる」と「勇気づける」についてお話をして下さいました。参加された保護者は、メモを取ったり短時間ではありましたが隣の人とワークを行ったりして、子どもとの接し方を学んでいました。



## 県立学校、地域とのふれあい

## 笛吹高校・桃花台学園

爽やかな秋晴れの11月3日(金)、学園祭を一般公開していない笛吹高校は、地域の方々に教育活動を知ってもらう「ふれあいフェスタ笛吹」を開催しました。今年もグラウンドに駐車できないくらい多くの方が見えて大変な賑わいでしたが、例年人気の野菜販売を他の来校者と分けて受付することにより、上手に混雑解消を図っていました。このイベントは、食品化学科のうどん販売やPTAの焼きそば販売にも行列ができるなど、毎年地域の方々が楽しみにしている学校行事です。生徒たちは、学習内容の掲示や買い物を済ませた方に対しての荷物運びといったおもてなしの心も伝えていました。



一方高等支援学校桃花台学園は、『桃花ダイスキマーケット秋の大収穫祭』を11月18日(土)に開催しました。あいにくの空模様で肌寒い日でしたが約350名の来校者があり、太鼓部の演奏と力強い開祭宣言がされたオープニングセレモニー、農業生産コースでは丹精込めて育てた野菜の販売、食品加工コースではプロ顔負けのオリジナルパンやピザの販売、環境メンテナンスコースでは花木の寄せ植えの販売や駅の清掃活動の紹介などがされていました。また、多くの卒業生も来校し、後輩に声をかけている姿から学校のアットホームな雰囲気伝わってきました。



## 第10回「ふるさと山梨」郷土学習

## 山梨県教育委員会

山梨県教育委員会は、山梨県のすべての児童生徒が郷土への関心を深め、郷土を愛し、郷土に誇りをもてるような心情をより豊かに育むために、郷土学習を推進しています。

去る10月31日(火)、その一環として郷土学習実践研究発表大会を開催し、優れた研究や実践事例の紹介を行いました。今年度は2月に発刊された新しい郷土学習教材「ふるさと山梨」を活用した研究等を含む2740点の作品が応募されました。

峡東地域の小中学校からは1264点と多数の研究が提出され、ふるさと山梨優秀賞に後屋敷小学校2年岡村隼さんの「山梨の鉄道とれきし」が選ばれ、表彰されました。また、学校奨励賞に塩山南小・菱山小・大藤小・神金小・勝沼小・石和西小・八代小・八幡小・岩手小・山梨南中・山梨北中・笛川中・塩山中・松里中・勝沼中・塩山北中・春日居中・浅川中がそれぞれ選ばれ、表彰されました。



## 勸学院祭・平成30年度生徒募集

## 山梨ことぶき勸学院

山梨ことぶき勸学院は、10月20日(金)に各教室で練習を重ねてきた合唱やダンスを発表する第31回勸学院祭を、コラニー文化ホールで実施しました。峡東教室は、1年生と2年生53名が9月から計7回練習を重ね、『誰か故郷を想わざる』『青い山脈』『学生時代』『高校三年生』『これから音頭』を披露しました。また、異世代交流として身延山高校手話部の皆さんをお招きしました。手話のレクチャーを受けた後、会場全員で手話歌『365日の紙飛行機』『PPAP』を歌い、交流を深めました。



また山梨ことぶき勸学院では、「高齢者の新しい絆の創造と地域の活性化に貢献できる人材育成」を目標に、平成30年度入学生を募集します。

### 【募集要項】

市町村教育委員会、下の出願先にあります。また山梨県のホームページからもダウンロードできます。

### 【出願期間】

平成30年2月1日(木)～3月15日(木) 土日祝日を除いて午前9時～午後4時まで

### 【出願先・問い合わせ先】

山梨ことぶき勸学院	甲府市東光寺2-25-1	電話055-233-6947(仙洞田)
峡東教室	甲州市塩山上塩後1239-1	電話0553-20-2731(丸山)
山梨県教育庁社会教育課	甲府市丸の内1-6-1	電話055-223-1773(飯島)

### 【見学・体験会】

峡東教室では2月2日(金)と6日(火)に、東山梨合庁101会議室において見学・体験会を実施します。お気軽にお越し下さい。

<両日とも午前9時～「朝の会」、午前9時30分～「講義」、正午～「帰りの会」となります>

## ふれあい交流会

## 笛吹市社会福祉協議会芦川地域事務所 芦川小学校

笛吹市社会福祉協議会芦川地域事務所と芦川小学校では、12月15日（金）に芦川ふれあいプラザにおいて児童と地域のお年寄りとの『ふれあい交流会』を開きました。全校児童4名はこの日のためにハンドベル演奏・リコーダーとピアノ合奏の練習やクイズを作成しました。当日はやや緊張の面持ちでしたが、素晴らしく心暖まる演奏を披露しました。お年寄りの皆さんも、児童が出すクイズに手を挙げて一生懸命答えていた姿が印象的でした。また、会場に集まった全員が5つのグループに分かれて、芦川小が作製した『芦川村環境かるた』をしたり、カラフル白玉ぜんざいを食べたりと、楽しい時間を共有することができました。



## 甲州こどもフェスタ

## 甲州こどもフェスタ実行委員会 甲州市子育て支援課

未就園児を持つおかあさん同士の交流を目的に、甲州市では11月8日（水）、塩山ふれあい館において「第12回甲州こどもフェスタ～生まれちびっこ！広がれ子育ての輪～」を開催しました。当日は勝沼保育園園児によるオープニングセレモニーで幕を開け、会場内には前髪カット、手型・足型コーナー、ママの健康コーナーなどが、会場外にははらぺこ食育広場や防災安全コーナーなどのブースが準備され、来場者をもてなしました。どのブースも待ち時間が生じる人気ぶりでした。会場では、実行委員・市職員に加えて子育て支援に携わっている皆さんや山梨大学・山梨英和大学・塩山高校・日川高校・塩山中学校の学生・生徒の皆さんが、お子さんを預かるなどして日頃子育てに奮闘しているおかあさんのサポートをしていました。



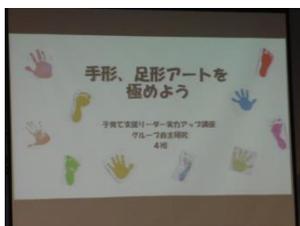
## 子育て支援リーダー実力アップ講座

## 県教育庁社会教育課

山梨県教育庁社会教育課では、今年度も子育て家庭の支援者を対象に、家庭教育・子育てにおける喫緊の課題（子育て相談員としての心得と技術の習得・多文化共生と子育て支援・DVと児童虐待等）について講義と実技演習を主体とした「子育て支援リーダー実力アップ講座」を開催しました。峡東地域からは7名が全10回の講座に出席し、修了証を手に入れました。受講生には地域の子育て支援者のリーダーとして活躍していただきたいと思っております。

＜参加者の声…峡東地域外のものも含まます＞

- 仕事をしながら研修を受けることがなかなか叶いませんでしたが、思い切って参加して良かった。
- スペシャリストからの貴重な話を聞くことができ、スキルアップができた。
- 多様な支援の引き出しになりました。
- 支援センターのママ達にも伝え、助言することが増え、相談して良かったという声をいただきました。



## 峡東地域 小中学校音楽発表

## 峡東地域内小中学校

笛吹市小中学校合同音楽会が10月24日(火)、笛吹市スコレーセンターにおいて開かれました。今年度も市内の学校を3部に分ける構成で行われました。参加者全員合唱の『もみじ』で始まり、学校ごとのステージ発表では合唱・太鼓演奏・吹奏楽部の演奏などが行われました。どの発表も、日頃の練習の成果が十分発揮されていました。



一方東山梨小中学校音楽発表会は10月26日(木)、甲州市民文化会館において開かれました。こちらは甲州市と山梨市の学校を2部に分ける構成でした。合唱ありボディ・パーカッションあり音楽劇ありで、どの学校も心をつにした発表でした。また、山梨小児童と一緒にステージに上がったろう学校の児童も、手話を交えて素晴らしい発表をしてくれました。



## ひまわり交流

## 後屋敷小学校 児童発達支援センターひまわり

後屋敷小学校6年生は、学校の近くにある児童発達支援センターひまわりを訪ね、園児との交流会を行いました。まずは10月31日(火)、会場の下見と園児の様子を知ることが目的として訪問を行いました。そして園児と安全に交流できる方法をみんなで考え、11月30日(木)に、段ボールで作ったカート・オモチャ・クジなどを持参したり、ダンスを披露したりしてそれぞれの教室で交流を深めました。園児は、カートに乗り込んでレースに参加したり、クジで当たったメダルを首から提げたりして大喜び。小学生も、園児の個性を認めながら活動することで、日頃気付かない配慮の大切さを学ぶことができました。



左2枚：10月31日の様子

右3枚：11月30日の様子

## 笛吹市小学生・中学生俳句会表彰式

## 笛吹市教育委員会

12月23日(土)、いちのみや桃の里ふれあい文化館において、第21回笛吹市小学生・中学生俳句会の表彰式が行われました。今年は全国の小・中学校688校の児童・生徒46,446人から応募がありました。この中から、俳句結社「郭公」主宰の井上康明氏等により、入選作品100句と学校賞が選ばれました。表彰式には、北は青森県から西は福岡県まで秀作以上の入選者が出席し、山下政樹市長らから賞状と記念品が贈られました。

文部科学大臣賞

小学生の部『たいようにアイスクリームうばわれる』

笛吹市立石和北小学校 山口乃愛さん

中学生の部『蛍火の光一粒手の中に』

津山市立加茂中学校 野口芽生さん

学校賞

小学生の部 笛吹市立石和東小学校

中学生の部 笛吹市立浅川中学校

# EZ area times



今年度、塩山高校では、運動部・文化部ともに県大会で上位の成績を残しました。生徒たちは、切磋琢磨しながら日々頑張っています！



**ウエイトリフティング部**  
 インターハイ男子3名  
 出場(内2名 上位入賞)  
 女子全国大会1名出場



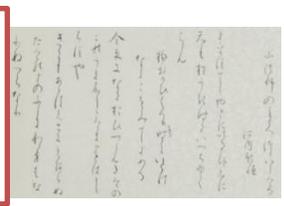
**相撲部**  
 団体インターハイ出場  
 関東大会個人軽量級  
 優勝・準優勝



**弓道部**  
 インターハイ男子個人出場  
 インターハイ県予選  
 男子団体準優勝



**書道部**  
 全国総文祭  
 二年連続出場



**吹奏楽部**  
 地域行事や甲州市内（議場でも）、県内各所において演奏活動をしています。  
 今年度 吹奏楽コンクール金賞

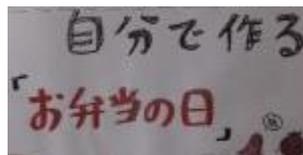
**商業科** 商業研究部では、日頃から地域行事に参加し、地元の特産品を使った商品を作り、出店しています。甲州特産の天空かぼちゃをPRするため、天空かぼちゃ祭り実行委員会に参加し、企画・運営に携わるだけでなく、お祭りのホームページも担当しています。

**英数コース** 英数コース3年生は、総合的な学習の時間に取り組んだ「地域活性化プロジェクト 2017」の成果報告を甲州市役所で行いました。塩山駅周辺の都市整備について探究したグループは、町づくりのワークショップに参加したり、全校生徒にアンケートを実施し、高校生の視点で都市整備への意見を市に提言したりしました。

こうした様々な取組が認められ、美しい県土づくり大賞において、商業研究部と英数コース3年のグループが奨励賞を受賞しました。



**野球部**  
 全国高校野球選手権山梨大会では、準々決勝で敗退しましたが、ベスト8に入ることができました。



**お弁当の日** 生徒・職員それぞれが、簡単なものでよいので、自分でお弁当を作り、昼休みに一緒に食べています。このお弁当の日は、年に数回実施されていて、「食」について考える良い機会となっています。

